

# 事務事業評価シート

評価実施年度：平成30年度

上位の施策名称 施策Ⅱ-3-2  
県立病院における良質な医療提供

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 病院局県立病院課長 黒目 浩喜 電話番号 0853-22-5111

事務事業の名称	総合周産期母子医療センターとしての医療の実施（中央病院）	
目的	(1) 対象	周産期医療を必要とする人
	(2) 意図	適切な医療を受けている
事業概要	総合周産期母子医療センターに搬送される重症の妊産婦・新生児を受け入れて、適時・適切な医療・看護を提供する。	

## 2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	妊産婦・新生児搬送受入率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	%
	式・定義	妊産婦・新生児受入数/妊産婦・新生児搬送数	実績値	100.0	100.0	100.0		
			達成率	100.0	100.0	100.0	-	-
2	指標名		目標値					
	式・定義		取組目標値					
			実績値					
		達成率		-	-	-	-	%

## 3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	0	0
うち一般財源 (千円)	0	0

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

## 5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

平成29年度には、地域の周産期医療機関や周産期母子医療センター等から50件の搬送を受け入れるなど、県内唯一の総合周産期母子医療センターとしての中央病院の役割を果たしている。

## 6. 成果があったこと（改善されたこと）

県内唯一の総合周産期母子医療センターとして、リスクの高い妊娠・出産や高度な医療を必要とする新生児への医療を提供している。

## 7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

### ①困っている「状況」

周産期医療の更なる充実が必要。

### ②困っている状況が発生している「原因」

医療従事者の確保が困難な状況が続いている。

### ③原因を解消するための「課題」

産婦人科医師をはじめとする医療従事者の安定的な確保が必要。

## 8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

関係大学や（一社）しまね地域医療支援センターとの一層の連携を図り、医師の確保・育成に努める。